



内容目次

- ・医療費が高額になりそうなときは・・・
- ・はっきりしない“しこり”の話
- ・インフォメーション
- ・外来診療表



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

医療費が高額になりそうなときは・・・

「限度額適用認定証」って知っていますか？

窓口の支払いが高額な負担となった場合、あとから申請することで自己負担限度額を超えた金額が払い戻される「高額療養費制度」というものがあります。しかし、あとから払い戻されるとはいえ、一時的な支払いは大きな負担になります。

そこで事前に参加の保険者に申請して「限度額適用認定証」を受け取り、医療機関に見せることで、窓口負担を自己負担限度額まで軽減する方法があります。

上手に制度を利用して少しでも負担を減らしていただければよいと思います。

医事課 杉谷

はっきりしない“しこり”の話

「1年前から、ここに“しこり”があるのですが…」

指でその部位を示しながら心配そうな顔で診察を受ける患者さんたち、耳鼻咽喉科の外来には耳、鼻、咽頭（のど）の症状に加え、頸部（くび）の“しこり”が心配で来院される患者さんも少なくありません。

ある辞書※¹によると“しこり”とは、「①筋肉や皮下組織などがこること。また、そのかたまり。②物事が一段落したあとに残るすっきりしない気分。」と書かれています。耳鼻咽喉科で治療するのは①の“しこり”ですが、治療を必要としない正常な部位を「悪いできもの」と感じて来院される患者さんもいらっしゃいます。唾液を作る耳下腺、顎下腺、炎症で大きくなるリンパ節、大きさに個人差のある甲状腺、下顎（下あご）の2~3cm 下方に存在する舌骨、そして頸動脈（けいどうみゃく）の膨らみ等がそれにあたります。一方で、これら臓器に悪性の“しこり”いわゆる“がん”が発生する場合もあり、もちろん早期発見、早期治療が大変重要になります。

しかし、高度に発展した医療をもってしても、良性か悪性か、はっきりしない“しこり”があります。手術で摘出して全部調べないと“がん”かどうか分からない、なんともすっきりしない病態です。「1センチの悪性腫瘍も診断できる」と言われるPET 検査でも頸部の“しこり”は良性か悪性かの判定が難しいことが知られています。

ではこのような、はっきりしない“しこり”ができた場合はどのように対応すれば良いのでしょうか？その答えは、平たく言ってしまうと、様子を見る、もしくは、手術をする、のどちらかになります。早めに手術をして辞書の②の意味の“しこり”もスッキリさせてしまうことも悪くありませんが、いずれにしても状況に応じた細やかな対応が必要です。もし、ご自身や周りの方の頸部の“しこり”に気づいたときは早めにご相談いただければ幸いです。

※1：オンライン総合辞書 Weblio

インフォメーション

1. 休診について (2/26 現在)

3月 9日 (月)	小児科	石田医師休診
3月 16日 (月)	内科	石川医師休診
3月 20日 (金)	内科	木村医師休診
3月 23日 (月)	皮膚科	休診
3月 24日 (火)	泌尿器科	坂本医師→黒住医師代診 予約患者様のみ診療
3月 26日 (木)	内科	木村医師休診
3月 26日 (木)	内科	坂本医師休診
3月 30日 (月)	皮膚科	休診
3月 31日 (火)	整形外科	新昶医師休診
4月 1日 (水)	内科	木村医師休診

(変更する場合があります。休診等の情報は、北棟1階の掲示板をご覧ください。)

2. 救急外来について

救急外来で診察を希望される方は、直接来院される前に、必ずお電話で診察が受けられるかご確認下さい。

入院中の患者様の診察など他の業務により、お断りする場合やしばらくお待ち頂く場合もありますので、予めご了承下さい。ご協力とご理解をお願い致します。なお、当日の精算は出来ません。

- ・会計にて一時預かり金をしています。

お問い合わせ先

地方独立行政法人

さんむ医療センター 地域医療連携室

住所：〒289-1326 千葉県山武市成東 167 番地

TEL：0475 (82) 2521 FAX：0475 (82) 3354

